

〔国際会議開催〕

申請者	九州大学 助教 野上 大史	2195011
国際会議名称	The 8 th International Conference on Bio Sensors, Bio Electronics, Bio Medical Devices, Bio MEMS/NEMS & Applications 2019 (Bio4Apps2019)	
開催期間	2019 年 12 月 18 日～12 月 20 日	
開催場所	鹿児島大学郡元キャンパス内稲盛アカデミー (鹿児島県鹿児島市)	
申請者の役割	プログラム作成委員長・Secretary	

概要：

当会議開催の目的・意義は、ナノフォトニクス技術や MEMS (Micro Electro Mechanical Systems) 技術、最先端の電子集積回路技術、ならびに化学、生物、医療分野、畜産動物へのアプリケーション技術などの異分野融合技術の更なる発展、新しい応用分野への展開を目指し、研究交流を行うことである。加えて学生および若手研究者の参加・登壇を積極的に推奨しており、新しい技術を担う人材の開発に役立てることも担っている。

当会議では、MEMS、センサ、マイクロ流体工学およびそれらの応用の分野でそれぞれ著名な研究者を招待して、その応用研究について言及した。農業分野では後藤教授 (鹿児島大学)、マイクロ化学システム分野では木田教授 (熊本大学)、マイクロ流体工学分野では山西教授 (九州大学)、MEMS 技術および医工学センサ分野では Prof. Shum (The University of Hong Kong)、MEMS センサ分野では Prof. D. Wang (Jilin University) を、それぞれ Keynote Speech としており当該分野の最先端の研究の講演を行っている。質疑応答の時間を多めに設けた結果、異分野融合の今後の発展・新しい応用分野への展開について活発に議論する場を提供することができた。また、本分野の研究者と学生との積極的な交流・議論を促進するため、学生の登壇はより近い距離で議論可能なポスタセッションを中心とした。分野の異なる多くの研究者と学生との交流する場となり、自身の研究の立ち位置、新しい分野を開拓することの楽しさ、今後の研究の展開などを討論する場を提供した。今後も、この研究交流を促進させることは、日本ならびに海外の若手の研究活動、生産活動に大きく寄与することにつながる。